

## 今年度の理学同窓会(瑞滝会)奨学生の紹介

始めに、この度は奨学生として選んでいただき、感謝申し上げます。  
総合生命理学部で生物や物理、化学等の多様な分野について学ぶことができたおかげで、自分の興味のあるものについて、広い視野で考えることができました。そして目標を見つけ、その目標に向かって研鑽することができたのは、理学部で出会った同級生や先輩、いつも親身になって寄り添ってくれた先生方のおかげです。

今後も周りの方への感謝を忘れず、目標に向かって精進して参りたいと思います。

最後になりましたが、瑞滝会の皆様にこの場を借りてもう一度、心からの感謝申し上げます。

学部 4年 宮津 菜々子



こんにちは。総合生命理学部3年の田坂夢輝です。

私は高校生の頃から物理に興味を持っており、この学部に所属してからはより一層理解を深めようと努めてきました。また、音楽サークルや他大学の吹奏楽団などに所属し、音楽を中心に課外活動もさかに行っています。

これからは配属された研究室において、先生や先輩、同期と協力しながらこれまで以上に論理性のある学びを行い、物理学における技術を磨いていきたいと思っています。

学部 3年 田坂 夢輝



## 同窓会からのお知らせ

### 理学同窓会(瑞滝会)奨学生の募集

瑞滝会では学業優秀で学内行事等にも積極的に活動をしている総合生命理学部生（対象は2年生～4年生の各一名ずつ）に同窓会奨学金として、10万円を贈呈します。

申し込み用紙をホームページからダウンロードして申し込んでください。申込期間は令和5年4月15日から5月31日までで、書類を指導教員（担任）に提出してください。

\*一度選定された方は応募できません。

\*成績、その他の評価は前年度が対象となります。

### 名古屋市立大学交流会入会の案内

皆さん、名古屋市立大学交流会に入会していますか。学部単位と同窓会に加えて、卒業生、修了生、大学現旧教職員、本学にゆかりのある方を含めた全学レベルの組織を設立し、大学の発展と社会への貢献を図ることを目的として、平成25年3月「名古屋市立大学交流会」が設立されました。入会方法は‘名古屋市立大学交流会’で検索し、入会案内に従いお名前やご住所を記入、返信するだけです。是非、ご入会ください。

### 瑞滝会総会のお知らせ

今年度の瑞滝会総会は昨年度同様、6月にオンラインによる採択といたします。なお、懇親会は9月頃の開催で準備を進めているところです。

随時、情報を瑞滝会ホームページなどでお知らせいたします。

# 瑞滝会

会報誌

2024

March

名古屋市立大学  
理学同窓会



## 同窓会会長からの挨拶



瑞滝会会員の皆様、いつも大変お世話になっています。

さて、皆様にとって今年度はどのようなものでしたでしょうか。私自身としては、ようやく暗闇からはい出し、少し明るい兆しが見えてきたことを実感できた年でした。皆様は如何でしたでしょうか。

瑞滝会におきましては6月に総会をWebで開催をいたしました。通常、総会後に懇親会を開催していますが今年度も慎重に感染状況を注視しつつ、時期を10月にずらして会を開催することができました。来年度の総会・懇親会にはより多くの会員の皆様にご参加いただき、近況をお聞きしたく存じます。なお、懇親会の報告については別記事を参照ください。

来年度も引続き役員一同、会員の皆様にとって有益な会の運営を目指す所存ですので、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健康とご発展を役員一同祈念申し上げます。

名古屋市立大学 瑞滝会 会長 對馬 明  
役員一同

## 編集後記

今年度の会報誌作成に携われたことを嬉しく思います。1年を通して周りの植物が刻々と移り変わる中、理学部生の集まる棟は絶えず温かな笑い声で溢れていました。今年度の思い出の一つとしてこの誌がお役に立てば幸いです。改めて、寄稿くださった皆様、並びにご協力くださった役員の皆様にお礼申し上げます。（学生役員 杉浦）

## イベント開催

### BBQ



行動制限の緩和により、数年ぶりに学部生との交流イベントが行われました。参加者の声とともにお届けします。

2020年1月に新型コロナウイルスが国内で初めて確認されてから3年間、大学でも様々な感染蔓延防止策を余儀なくされてきました。しかし、2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで、学部でも徐々に行事の正常化を図れることになりました。その第一弾が、5月20日土曜日に荒子川公園（港区）で行ったバーベキューでした。実に2019年の夏以来の学部バーベキューで、快晴、適温適湿のなか、多くの学部・大学院生が集ってくれました。新1年生の歓迎会が大きな目的でしたが、参加者全員が親睦を深めていたことに大きな成果を感じました。また、準備に尽力してくれた川口君を中心とした2年生の皆さんには、特に感謝しております。残念ながら参加できなかった学生も多数で、毎年の恒例にできたらと思っています。実施には少々不安がありましたが、その後に体調を崩した学生はいなかったと思います。

湯川 泰 教授

5月

10月

### 懇親会

10月7日(土)、名古屋駅西口「クロッシュブラン」にて懇親会を開催し、現役学生と卒業生・修了生が一堂に会しました。また、特別会員として総合生命理学部の先生方にもご出席をいただくことができました。ご多用の中、誠にありがとうございました。

美味しい料理を食べながら自己紹介をしたり、修了生の近況報告を聞いたりすることで親睦が深まりました。またビンゴ大会を行いました。個性豊かな(?)景品がずらりと並べられており、景品選びを巡って大いに盛り上がりしました。終始笑いが絶えませんでした。

2時間余りの大変温かい懇親会となりました。ご出席いただきました皆様に感謝申し上げます。今年参加できなかった会員の皆様、来年はぜひご参加ください。



瑞滝会役員 仙石 直子

## 教員の声



2023年度は、基本的にコロナウイルス感染に関する制限がGW明けに解除されて、ほぼ通常の大学生活に戻りました。しかし、海外渡航ができなかった2-3年の間に大きな物価上昇と大幅な円安が進行したために、以前はアメリカの学会参加なら20万円で飛行機宿泊費込みで何とかなったものを、いまでは50万円以上掛かるようになってしまいました。また、科学誌のオンライン化と寡占化が進むに連れて、投稿料が50万円ならそんなに高くなく、高インパクトのジャーナルなら100万円というところも出てきてしまい、「博士課程の学生に海外を経験させて論文を投稿させる」ということも、かなり困難な時代になってしまいました。さらに、日本経済の低迷により余裕が無くなったためか、博士後期課程への進学率も低下してきていました。しかし、禍福は糾える縄のごとし、これまではほぼ学振DCだけだった博士後期課程の学生への経済的サポートが、来年度から数倍規模に広がるようすし、企業でも博士取得者への期待が高まりそうという流れもあります。令和9年度に田辺通キャンパスへの移転が決まり、さらにこれに合わせて学生数を倍増させようという計画もあります。これからの総合生命理学部・理学研究科に、どうぞご期待下さい。

木村 幸太郎 教授

## 新入生の声

大学生になってからもうすぐ1年が経とうとしています。私が総合生命理学部に入って感じたこと、それは「素敵な仲間と環境に恵まれて幸せ」ということです。正直、大学生活は不安だらけでした。高校3年間をマスクと共に過ごしてきた私たち、コロナ禍で大学生活も送るなんて...とか思っていました。でも、授業も友達と一緒に受けることができるし、テスト前には机を囲んで勉強会ができるし、授業後にご飯に行くこともできます。...当たり前かもしれないですが、この当たり前を普通に経験できていることが幸せです。

さらに、総合生命理学部は先生方との距離が近く、すれ違う時に声をかけてくださったり、実験や輪読会に迎え入れてくださったりする先生もいらっしゃいます。そして、ここには志の高い素敵な仲間や先輩で溢れています。規模が小さいからこそ、縦横のつながりが深くアットホームな雰囲気です。

総合生命理学部はまだ始まったばかりで、私は6期生です。でも、歴史を創るピースの1つとして、もしかしたらパイオニアになれるかも?!という大きなわくわくを胸に日々過ごしています。まだまだ勉強不足ですが、このような素敵な環境で、「なぜ」「どうして」を知る楽しさを味わっていきたいです。



学部 1年 柴田 万莉菜

## 修了生の声

第31回愛知県理学療法学会大会（2023年5月14日）の学会大会長を務めました。学会大会のテーマは「理学療法士による予防最前線」です。新型コロナウイルス感染症の第5類移行化を見据えてほぼ1年間の準備を経て、完全対面で学会大会を実施することができました。大学院理学研究科・総合生命理学部の高石鉄雄先生を講師としてお招きし、「食後の血糖値スパイク緩和のための運動」のご講演をいただきました。参加登録者は計975名、一般演題数は77演題と大盛況な学会大会となりました。

〔2009年システム自然科学研究科博士前期課程修了、2015年博士（生体情報）〕

對馬 明



大会長基調講演中の筆者

## 同窓生の活躍

Vtuberとしても活躍されている同窓生をご紹介します。

おはようの人もおやすみの人も、ちょこっと読んでみてね！学び系Vtuberのもっさんです！

生物学を楽しく語る配信や、歌、シチュボ部(シチュエーションボイス台本を書いてアニメを制作しているVの部活)など、幅広く活動しております。

現実には麦酒会社で品質保証業務を担っています。仕事と家事と育児をしながらVtuberとしても活動するのは、忙しくも楽しい日々です。

名市大で学んだ知識や技術は、今も私を支えてくれています。産後のブランクありで頭が働かなかった時期でも、手は技術を覚えていました。またコロナ禍によってこれまでの私の趣味は全て封じられてしまいましたが、培った知識はVtuberという新たな趣味を与えてくれました。結婚や夫の転勤など、人生の転機によって何度も転職している私ですが、その都度仕事に就くことができるのは、大学で得た知識と技術のおかげだと思っています。

何があっても現状で最も合理的で楽しめる選択を、これからも続けて参ります。

気になった方はぜひX(旧Twitter)やチャンネルにも遊びにいらしてください！

今日もぼちぼちがんばるんば！

木村 恵子

X (旧Twitter) ▶もとやまめぐ @Mossan\_Kei

▼視聴はこちらから！

